新規就農者のライフスタイル研究

22211063　遠藤颯馬

経緯と意義

本研究に決めた経緯は、昨年度の研究で漁師のライフスタイルを行い、次に同じ第一次産業に携わっている人のライフスタイルも知りたいと考えてからである。本研究の意義は、研究を行うことにより、新規就農者がどのような経緯で農業に携わる選択をし、なぜ農業を選んだかなど新規就農者について知ることができる。

新規就農者の種類

新規就農者とは、新たに農業に参入する人を「新規就農者」と呼ぶ。新規就農者は三種類の人がいる。一つ目は新規参入者である。他業種から参入して、農業経営始める経営責任者のこと。農家として起業・独立した新規参入者を指す。二つ目は新規雇用就農者である。農業法人に就職し、従業員として従事すること。雇用就農とも呼ばれている。三つ目は新規自営農業就農者である。家族や親類が行っている農業を後継するスタイル。保有している農地や設備、作物などを引き継いで農家として農業に従事する。

新規就農制度

新規就農者に向けた新規就農制度というものがある。目的は、新規就農者を地域農業の担い手として育成するためには、就農段階から農業経営・発展段階まで一貫した支援をすること。対象者はその市町村の区画内において新たに農業経営を営もうとする青年等。計画認定は①その計画が市町村の基本構想に照らし適正であること②その計画が達成される見込みが確実であること。これらの要件を満たす場合に認定を実施。

取材場所と質問例

取材場所は夏季休暇中に能登半島に行く予定なので、その時に 2 名ほどの新規参入者に取材を行う。質問例としては、農業に携わろうと思った理由、いつから思っていたのか・新規就農者になるまでの経緯と人生選択・新規就農者としての苦労したこと・前職はなにをしていたのか・その土地（場所）を選んだ理由・農業には仲間意識はあるのか・コミュニティの入りやすさなどの質問を行う予定。これらをもとに秋に SRC 発表スライドではジャーニーマップを作成予定である